



タブレット授業は楽しいよ♪

海部小学校5年生
…手作りスクリーンとマスクで感染予防



海陽町議会だより

6月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **57** (2020.8)

おもな内容

議会構成	2・3P
特集記事	4・5P
行政報告	11P
一般質問	15~17P

新しい議会構成が決まる

議会構成決まる

就任あいさつ

議長

戸田 眞理子



議員各位のご推挙により、この度、議会議長の要職に就かせていただきました。光栄の思いと同時に、責任の重さを痛感しております。

今、世界は新型コロナウイルスの感染拡大により、思わぬ事態に陥っております。故に、本町におきましても、更なる課題解決が求められています。これからの海陽町の発展と、住民福祉の向上のためには、議会と行政が車の両輪として邁進し、努力を重ねることが肝要となります。

微力ではありますが、円滑な町政運営となるよう尽くしてまいりたいと、思いを新たにしております。

これまで以上に、ご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

副議長

小山 慎



この度、副議長の要職に就かせていただくことになりました。責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いがいたします。

本町が、以前より抱える諸問題もございりますが、ふるさとを元気に、そして発展していくべく、よう課題改善に向けて取り組み所存です。

町民の立場に立ち、議長を補佐し、円滑な議会運営に努めてまいります。今後とも、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議会運営委員会

- ◎ 見吉 政貴
- ◎ 島崎 勝弘
- 高島 武夫
- 叶岡 徹
- 橋本 朗

◎委員長
○副委員長

議会広報編集特別委員会

- ◎ 小山 慎
- 佐川 富美
- 原 ひろみ
- 橋本 朗
- 富田 寛
- 東 久博

議会選出監査委員

西山 幹男

所管：出納課、総務課、経営戦略課、管財課、まち・みらい課、危機管理課、税務課、商工観光課、農林水産課、建設課、上下水道課、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会に関する事項並びに他の常任委員会に属さない事項。

総務産業建設常任委員会



高島 武夫 見吉 政貴 佐川 富美 戸田眞理子
○富田 寛 ◎橋本 朗 原 ひろみ

所管：住民環境課、福祉人権課、地域包括ケア推進課、教育委員会及び海南病院に関する事項。

文教厚生常任委員会



長岡秀一郎 小山 慎 島崎 勝弘 西山 幹男
白濱 輝二 ◎叶岡 徹 ○東 久博

議会構成決まる

新型コロナウイルス感染症対策

海陽町独自の事業を中心にまとめてご紹介いたします！



事業所と家庭の応援

元気プレミアム商品券事業

9,692万円(5月補正)

4,896万円(6月補正)

町 独自の緊急経済対策です。1セット1万円で、12000円分の商品券と1000円分の飲食券を販売します。



商品券と飲食券・スタンプカード

スタンプラリー事業

400万円

町 内の飲食店を利用してスタンプを集めると、特産品やふるるんグッズと交換できる事業です。(6月補正)

地元産品販売促進事業

2,500万円

町 内5団体に各500万円の補助をし、農産物や魚などの一次産品を中心に、特売セールを行います。皆さんにもお得な、うれしい企画です。(6月補正)

予防備品購入事業

242万円

(公立保育所・学校給食センター)

災害対策事業

322万円

(避難所用感染予防備品)

海南病院等備品購入事業

152万円

(発熱用外来テントなど)

感染症対策補助事業

184万円

(社会福祉協議会・保育施設)

予防備品購入の追加

49万円

(宍喰保育所・海陽幼稚園)

感染予防対策

町民の生活支援

子どもあゆみ・すくすくクーポン事業

502万円

(5月補正)

学 校休業中の子育て応援のため、小中学生の家庭に1万円の商品券を配布する事業です。

高齢者買物等サポート事業

330万円

(5月補正)

高 齢者の生活応援として、買物支援や弁当宅配を行う事業所に2万円/月を補助します。

特別定額給付金事業

9億2643万円

(国の事業：給付金10万円/1人)

(5月補正)

子育て世帯へ臨時特別給付金

927万円

(国の事業：児童手当加算金1万円/1人)

(5月補正)

青空サロン事業

20万円

(屋外介護予防イベント)

(5月補正)

コロナウイルス傷病手当金

65万円

(国保会計：罹患者への給付金)

(5月補正)

子ども預かり事業補助金の増額

119万円

(臨時休校に伴う学童保育実施分)

(5月補正)

小学校タブレット購入事業

4310万円

(国の事業決定前に、全児童分を購入)

(5月補正)

その他の主な事業

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生との2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。委員長報告から要旨を抜粋しお知らせします。

総務産業建設常任委員会

委員長 橋本 朗

6月8日開会。
開会後、船津キャンプ場を巡視の後、所管する議案等について説明を受けた。

契約関係

○ 消防自動車購入契約
指名競争入札で2台購入。〔1867万円〕

委員の間

何社で配備先は。
答 9社で1社欠席。海部第5分団、宍喰第3分団に配備。

予算関係

○ 令和2年度一般会計
補正予算(第3号)

回の補填は、基本協定に基づいた損失補填。国県の補助金で補填を埋めることができるものがあるが、その分は補填金から除くようにしていく。

委員の間

ホテルリビエラの浴場改修の見直しは。
答 設計業務委託は発注済みであり、具体的になれば改めて説明する。

町長

経営を立直しているよう株主総会でも話し合い、コンサルも入れながら進めていきたい。

土木費

公園費
〔5000万円〕
ピクニック公園周辺整備として、幼児公園の整備を行う。

委員の間

事業費の内訳は。
答 フェンス、電気配線、進入路舗装が含まれており、遊具設置は2500万円。

消防費

避難路誘導灯整備事業
〔1077万円〕
備品購入費
〔1424万円〕
備蓄倉庫2カ所設置、テント、マット、ランタ

の購入費。

委員の間

令和2年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ477万円を減額し、総額を6377万円とする。

委員の間

令和2年度鉄道経営安定基金特別会計補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ7000万円を追加し、総額を1億3575万円とする。

委員の間

令和2年度水道事業会計補正予算(第1号)は、収益的支出予定額を84万円減額し、2億802万円とする。

委員の間

建設改良費
〔125万円〕
町道板取2号線配水管仮設工事。

報告関係

繰越明許費に係る繰越計算書の報告
○ 事故繰越しに係る繰越計算書の報告

要望関係

種苗法改訂に関する国等への意見書の提出を

求める陳情

国会審議に入っており、不採択。

徳島県に主要農作物種子条例制定を求める陳情書

全会一致で採択。

その他

DMV導人に伴うJR牟岐線の代替バス運行について
まち・みらい課より、7月上旬に予定されている

商工観光課より、今年度は、海開きを行わない。

松本排水機場増設の要望について委員からの問。

町長より、南部県民局へ議会とともに要望を行いたい。



船津キャンプ場の巡視

コロナウイルス関連事業は、4・5ページに、その他主な事業は、左のページに特集しています。

癒やしの空間で自然満喫

船津キャンプ場 修繕事業

1650万円

築 25年で経年劣化が進んでいるため、管理棟屋根などを改修し、長寿命化を図ります。



船津キャンプ場の全景

安心のために備えます

避難路・避難所 機能強化事業

2501万円



誘導灯が設置される「東泉寺裏山～弁天神社」避難路(浅川)

も しもの時に備えて、避難路(4カ所)に誘導灯や備蓄倉庫(2カ所)を整備します。

二次避難所用にはテントやランタンを購入します。

安全に楽しめるように

ピクニック公園 整備事業

5000万円

大 型遊具の隣に、幼児を対象とした滑り台やブランコ、木製迷路などを整備します。



幼児公園の整備予定地

文教厚生常任委員会

委員長 叶岡 徹

6月9日開会。所管する議案等について説明を受けた。

条例関係

○ 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

○ 介護保険条例の一部を改正する条例

○ 介護保険法施行令等の改正により、低所得者の介護保険料が軽減されることによる改正。

委員の問 今回の低所得者の軽減の比率と人数、第1号被保険者の人数は。

答 第1段階が基準額の0.3で925人、第2段階が0.5で635人、第3段階が0.7で401人、第1号被保険者は4116人。

○ 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

○ 令和2年度一般会計補正予算（第3号）

予算関係

○ 令和2年度一般会計補正予算（第3号）

○ 令和2年度一般会計補正予算（第3号）

○ 令和2年度一般会計補正予算（第3号）

○ 令和2年度一般会計補正予算（第3号）

○ 令和2年度一般会計補正予算（第3号）

○ 令和2年度一般会計補正予算（第3号）

○ 海南病院事業会計補正予算（第2号）

DMV運行開始に向けて 阿波海南文化村活性化事業 2691万円

文化村がDMVの始発の駅として計画されており、来館者が町の歴史・文化、各種の体験により楽しめる施設として、リニューアルし集客アップを目指します。

○ 総合施設案内板と各館の看板設置

一目で施設の位置や概要がわかるようにします。

○ DMV乗合所の新設

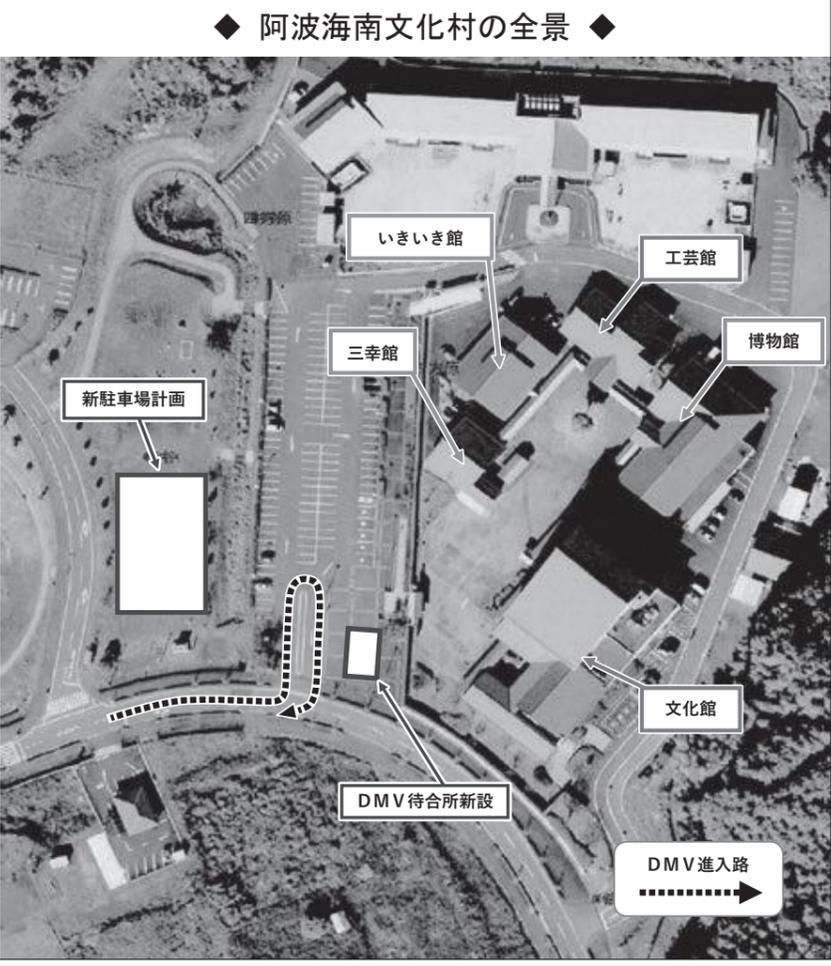
DMV乗合所を、文化村長屋門前に設置します。

○ 海陽町立博物館

戦国コスプレによるスマホ撮影スペースや、360度映像が見えるVRゴーグルを使用した、体験コーナーを設置します。

○ 文化村駐車場

DMVを含めた来館者増を見込み、増設計画により設計委託します。



文化村改修の全体計画



滑り台のイメージ

安全に遊んでね

児童公園遊具整備事業 115万円

大 里台（大里字宮ノ後）にある児童公園のすべり台を、経年劣化により新装します。

その他

○ 小・中学校の夏休休業における夏休みについて

○ 小・中学校の夏休休業における夏休みについて

要望関係

○ 1年単位の变形労働時間制の導入に反対する陳情

○ 1年単位の变形労働時間制の導入に反対する陳情

第2回定例会

■ 議案の審議
令和2年第2回定例会は、6月8日開会、町長より17議案および委員会より意見書が提出され、原案どおり可決し、6月11日に閉会した。

条例関係

- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- 介護保険条例の一部を改正する条例
- 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

契約関係

- 消防自動車(小型動力ポンプ付積載車)購入契約について
契約金額 1867万円
契約相手 有限会社 エフテック
期 令和2年6月11日(令和3年3月31日)

予算関係

- 令和2年度一般会計補正予算(第3号) 5296万円↑
- 令和2年度一般会計補正予算(第3号) 2億3742万円↑
- 令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 145万円↓
- 令和2年度介護保険特別会計補正予算(第1号) 315万円↓
- 令和2年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 477万円↓
- 令和2年度鉄道経営安定基金特別会計補正予算(第1号) 7000万円↑
- 令和2年度水産事業会計補正予算(第1号) 125万円↑
- 令和2年度海南病院事業会計補正予算(第2号) 660万円↓
- 報告第1号繰越明許費に係る繰越計算書の報告について
- 報告第2号事故繰越に係る繰越計算書の報告について

第2回臨時議会

■ 議案の審議
第2回臨時議会は、5月12日開会、次の議案等が提出され、審議の結果、原案どおり可決し閉会した。

承認関係

- 専決処分の承認(条例)
- 税条例等の一部を改正する条例
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

専決処分の承認(予算)

- 令和元年度一般会計補正予算(第9号) 1億9568万円↓
- 令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 4223万円↓
- 令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 33万円↓
- 令和元年度介護保険特別会計補正予算(第5号) 447万円↓
- 令和元年度浅川公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 194万円↓
- 令和元年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 352万円↓
- 令和元年度六喰公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 500万円↓
- 令和元年度神野農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 346万円↓
- 令和元年度川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 166万円↓

条例関係

- 令和元年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 118万円↓
- 令和元年度鉄道経営安定基金特別会計補正予算(第1号) 7600万円↓
- 税条例の一部を改正する条例
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 介護保険条例の一部を改正する条例

予算関係

- 令和2年度一般会計補正予算(第1号) 1億9913万円↑
- 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 事業勘定 65万円↑
- 令和2年度海南病院事業会計補正予算(第1号) 施設勘定 30万円↑
- 令和2年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 収益的支出 98万円↑
- 令和2年度川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 資本的支出 24万円↑

第3回臨時議会

■ 議案の審議

第3回臨時議会は、5月18日開会、新しい議会構成について審議し、原案どおり可決し閉会した。

※ 詳細については、2、3ページに掲載

6月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	6月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億4,508万円	7.9
地方譲与税	3,800万円	1億2,770万円	1.6
利子割交付金	0	40万円	0.0
配当交付金	0	370万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	0	210万円	0.0
法人事業税交付金	0	260万円	0.0
地方消費税交付金	0	1億4,660万円	1.8
環境性能割交付金	0	430万円	0.1
地方特例交付金	0	90万円	0.0
地方交付税	0	35億7,310万1千円	43.8
交通安全対策特別交付金	0	70万円	0.0
分担金・負担金	105万円	6,466万7千円	0.8
使用料・手数料	0	6,227万7千円	0.8
国庫支出金	544万4千円	12億8,351万7千円	15.7
県支出金	2,559万円	5億6,279万3千円	6.9
財産収入	0	4,479万5千円	0.6
寄附金	0	70万円	0.0
繰入金	1億610万円	9億9,904万2千円	12.2
繰越金	677万7千円	8,119万9千円	1.0
諸収入	4,481万9千円	1億1,224万1千円	1.4
町債	6,260万円	4億4,310万円	5.4
合計	2億9,038万円	81億6,151万2千円	100.0

歳出	6月補正	補正後	構成比率
議会費	0	7,058万1千円	0.9
総務費	1,022万3千円	18億9,545万5千円	23.2
民生費	782万3千円	17億3,211万9千円	21.2
衛生費	△529万5千円	7億3,199万8千円	9.0
農林水産業費	4,856万6千円	6億2,58万3千円	7.4
商工費	1億286万4千円	4億2,781万4千円	5.2
土木費	6,111万円	6億8,514万3千円	8.4
消防費	2,756万円	4億6,883万8千円	5.7
教育費	2,753万円	6億9,052万9千円	8.5
災害復旧費	0	3,760万円	0.4
公債費	0	7億8,959万6千円	9.7
諸支出金	999万9千円	1,519万8千円	0.2
予備費	0	1,405万8千円	0.2
合計	2億9,038万円	81億6,151万2千円	100.0

「スピードとタイミング」

町のコロナ対応

町長 三浦 茂貴

海陽町では、陽性者が確認された2月25日に、第一回目の対策本部会議を開催し、今後の町の方針と各課の対応を話し合った。

その後、2月27日に全一斉の学校休業要請があり、家庭で過ごすことのできない児童のために、3月2日当日から奥浦老人福祉センターで、臨時的に学童保育を開設した。



対策検討会議の様子

3月24日には、4月からの学校再開への対策を協議し「入手困難なマスクが必要ではないか」ということから、婦人会の方々と株トータスさんにご協力いただき、小中学生全員に布マスク2枚ずつの配布を行った。4月7日に7都道府県に緊急

事態宣言が発令され、町もゴールデンウィーク明けまでの学校休業の延期やイベントの中止、また、会議室や体育館の貸し出し中止、3密を避けることのできる施設以外の閉鎖などを決めた。4月16日に緊急事態宣言が全国に拡大されてからは、県をまたいだ往來の自粛なども始まり、町の施設はもとより、民間の施設や飲食店までもが対策をとったところである。

それに伴い、役場も、職員の県外出張の禁止や行動記録表の作成、テレワークの実施などを行い、ゴールデンウィークに向けて、県外客の多い施設の閉鎖なども実施した。また、「町民の見えない敵に対する不安を少しでも和らげられないか」ということで、次亜塩素酸水精製機を購入して無料配布を行ったり、小学校によるユーチューブ授業の配信、株ヤシロさんにご協力をいただき、

保育所・幼稚園児へのマスクの配布や(有)節川手袋さんにご協力をいただき、関西ふるさと会へマスクや町産品の送付なども行った。そして、5月4日の緊急事態宣言の延長を受けた町の対応策として、高齢者買い物サポート事業や青空サロン事業、子どもあゆみすくすくクーポン事業などを5月12日の町臨時議会で予算化したところである。

また、国の10万円給付金について、システム改修を行い給付すると、6月下旬になってしまいうので、職員が手作業により処理し、5月中に一回目の給付を行った。その後、5月14日に39県で緊急事態宣言が解除。25日には全国で解除され、町施設についても徐々に再開をした。町内の小中学校も25日から再開。また県立海部高校は、県外の生徒が18名いることから、再開に



次亜塩素酸水の配布状況(役場前にて)

本町の次亜塩素酸水は、食塩を電気分解して生成するため安全で、テーブルやドアノブの消毒に有効。

先立ち、遊遊N.A.S.Aで8日間滞在のうえ、異常がないことを確認してから、学校再開日に全員無事に登校できている。この新型コロナウイルス感染症の拡大以降、対策本部会議を11回、その他にも大小様々な会議を重ね、刻一刻と変わるコロナ禍に対応してきた。今回議会にも、早い段階での臨時議会をお願いし、コロナ対策事業の予算を議決いただいた。このような災害時にはスピードとタイミングが非常に重要であると強く認識している。今後、第2波、第3波も危ぶまれ、まだまだ予断を許さない状況ではあるが、「挙町一致」で日々変わる状況に対応し、しっかりと住民不安の解消に努めていく。

議案審議

令和元年度一般会計補正予算 (5月臨時会専決)

Q1. 地方創生事業補助金

〔△1380万円〕



見吉議員

非常に大きい減額であり、原因は何か。継続事業として、反省・問題点は。

中野まち・みらい課長

まず、移住起業支援、最大100万円を支給する制度であったが、要件が満たされず、実績0件。ふるさと創造事業については、起業支援等で、2件の実績で、300万の減。みらいの担い手育成事業は、当初5名で予定していたが、1名のみで120万の支給。

今後は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を立て、目標を達成するための進捗状況の評価・検証を行い、より効果的な事業を展開していきたいと考えている。

Q2. 木造住宅耐震事業補助金

〔△880万円〕



富田議員

各事業とも減額となっている。耐震シエルト設置支援補助金は、全額が減額となっている。PR不足なのか。

黒木建設課長

町としても有効活用していきたいと思っている。年1回、こういう事業があるという、広報誌による周知や、集落単位で要請があれば説明もしている。今後も引き続き広報活動に努めていく。

Q3. 有害鳥獣捕獲報償費・捕獲檻設置補助金

〔△260万円〕



叶岡議員

最近非常に被害が増えている中で、なぜこれほどの減額か。

森農林水産課長
駆除実績は、イノシシ350頭、シカ540頭、サル87頭で町単独費と国費上乗せ合計で1671万円となっている。過去3カ年の実績より増えているが、予算は実績ベースよりも多めに組んでいたため減額となった。

令和2年度一般会計補正予算 (6月定例会)

Q4. 地域おこし協力隊起業支援補助金

〔100万円〕



小山議員

これは何名の方で、どういった支援の補助金なのか。またこれまで、何名の実績があるのか。

森農林水産課長

協力隊1名。補助対象経費は、起業する場合の設備費、備品費、土地・建物賃借費、また法人登記に要する経費などであり、今回初めての対象者となる。

Q5. 観光施設指定管理者への営業損失補填金

〔2800万円〕



長岡議員

この補填金は、町が「漁火」と協定を結び、不可抗力で損害があった場合に、補填をするもの。不可抗力とは、火災とか災害を想定しての契約であったと思う。コロナ禍など想定していないときの契約。コロナは、2波あるいは3波が来るのではないかと想定もされるが、同じような方式で負担をしていくのか。

横経営戦略課長

基本協定に基づく、不可抗力による増加費用及び損害の負担である。今回、コロナの影響により、昨年度の3月～5月との比較による損失計算を行い予算計上している。第2波、3波が来たときも、休業や営業自粛に対して、この補償等の必要があると思われる。なお、国の施策など、総合的に判断した中で考えていく必要がある。

Q6. 文化村施設改修事業

〔1966万円〕



高島議員

DMVの乗り合い所もでき、集客が見込める。来客に対しての接客、また説明や案内など、どのように対応するのか。また、アルバイトなどの雇用はするのか。

森崎教育次長

主に、接客を行うのは、文化村のスタッフである。現在、接遇も含めたマニュアル作成や接客に対しての研修を行っている。三幸館や工芸館、またソフト部分について、予算計上でできていない部分もある。9月定例会において、雇用も含め予算を計上するよう説明していきたい。

Q7. 日浅医療政策統括監の勤務態勢



佐川議員

日浅統括監の診察日について、前年度は、月・火となっていた。今回は、月曜日の1日だけになっている。何か理由があるのか。また、週に何日勤務しているのか。

谷岡海南病院事務長

本年については、火曜日に海部病院から医師の派遣があり、その関係から勤務態勢の変更を行った。これにより、日浅先生は月曜日の午前・午後の診察とし、火曜日の午前には病棟の回診、午後には海南荘の巡回などを行う態勢としている。

令和2年度海南病院事業会計 (6月定例会)

松本排水機場増強の要望



松本排水機場(穴喰久保地区)の「排水能力増強」と「施設更新」について
徳島県南部総合県民局(美波庁舎)において、木具局長に要望活動を実施しました。

主要農作物種子条例制定を求める意見書 (要旨抜粋)

主要農作物種子法が平成30年3月に廃止され、公的な種子生産を維持するため、また、農業を守り、食を守り、生命を守るため、次のとおり県条例の制定を要望する。

- ・種子の生産は県が責任を持って行い、主要農作物等の品質の確保及び安定的な生産に寄与し、また公的な財政措置に基づき継続する。
- ・原種・原原種の生産と保存など県が責任を持って行う。
- ・阿波の伝統作物など種子生産を継続する必要がある在来品種の種子の維持、保存に対する支援。
- ・遺伝子操作等、安全・安心が確立されていない技術を用いて種子などの生産を行わないこと。

審議の結果、全会一致で可決し、飯泉嘉門徳島県知事に提出しました。

4月

- 2日 議会広報編集特別委員会
- 13日 議会全員協議会
- 議会広報編集特別委員会

5月

- 8日 議会運営委員会
- 議会臨時会
- 12日 議会運営委員会
- 第2回臨時会
- 18日 議会全員協議会
- 第3回臨時会
- 議会全員協議会

6月

- 2日 議会運営委員会
- 議会全員協議会
- 8日 第2回定例会(1日目)
- 総務産業建設常任委員会
- 議会運営委員会
- 9日 文教厚生常任委員会
- 11日 第2回定例会(2日目)
- 12日 議会広報編集特別委員会

※第2回定例会では、コロナウイルス感染症拡大防止対策として、議場傍聴席の間隔を明け、17席から10席とさせていただきます。ご協力に感謝いたします。

病院等のコロナ対応を問う



富田 寛 議員

〈町長〉できる限りの
想定をし準備

等、安全性の確保などが必要であり、現段階では困難である。今後、国や県の動向も見ながら、ソフト、ハード両面において、安全性が確立できれば、検査の実施に向け準備を進めたい。

三浦町長

市内の東横イン100床と旧海部病院60床を県に準備いただいている。もし、町内で蔓延してきた場合、遊遊N A S A やリビエラ、まぜのおか等の利用や屋内にテントを張るなど、できる限りの想定をして準備もしていきたい。

問 海南病院等で、抗原検査や抗体検査の実施はできないのか。
軽症患者については、自宅待機ではなく、町がホテル、町宿泊施設等に隔離し、感染拡散を防止することはできないのか。

答 谷岡海南病院事務長
海南病院等での検査については、十分な感染対策や検査の環境、人員



町立海南病院

学校のコロナ対応は

〈教育長〉
実態に応じた
教育をしていく

問 緊急事態宣言により3月2日から約3カ月間、小学校、中学校とも休校をしている。緊急事態宣言下でも県南地域に発病者が出ていない状態の時は、町独自の対応の仕方もあるか。
答 三浦教育長
5月22日に文科省から出された、学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルにおいて、地域の感染レベルに応じた感染予防対策が具体的に示された。県教育委員会の指示を踏まえた上で、地域や子どもたちの実態に応じた教育活動を実施していきたい。

緊急時の財政出動をしてはどうか

〈福祉人権課長〉
国の措置があり、町独自は難しい

保険料の減免措置を実施することとなっている。介護保険料の減免は、5月の条例改正により既に減免の措置が可能となっている。
国民健康保険税でも減免に対する国の財政支援が行われることとなり、現在、規則の改正を準備している。
今回の減免は、全額国からの財政支援がある。町独自に減免措置の拡大を行った場合には、減免されなかった被保険者の負担増になり、実施は難しい。

問 緊急非常事態の社会経済情勢なので、介護保険料、国民健康保険税の減免を適用して減額又は免除を実施するために、基金を充当してはどうか。
答 大崎福祉人権課長
介護保険・国民健康保険・後期高齢者医療では

議員 その他に、水道料金改定の延期をできないかと質問した。
国の認可を受け、4月より簡易水道と上水道の会計統合を行った。料金改定は、住民にも理解いただいております。延期はできないとのこと。



原 ひろみ 議員

避難所での感染防止対策は

〈危機管理課長〉
屋外用テントを活用し今後も研究に努める

問 新型コロナウイルス禍の中、南海トラフ大地震や豪雨災害、台風被害等複合災害を見据え、感染対策と総点検をしておく必要がある。

答 備蓄中の472張のテントはどこにどのぐらいずつ備蓄しているのか。体育館に張れるテント数は。収容人数はどのぐらいか。避難所の増設や分散避難を考えているのか。新しい避難所の耐震化はできているのか。

答 奥原危機管理課長
旧川上小学校校舎に100張、旧角坂小学校校舎に138張、地震・津波災害に対応するため、まぜのおか76張、遊遊NASAに123張を備蓄しており、これらの他に比較的避難者が多い各庁舎に合計30張、文化



屋内に用意されたテント

村に5張を備えている。避難指定の体育館は10ヶ所あり、約600のテントが張れ、約1800人を収容できる。新たに地域の集会所を避難所として選定し、親類宅や友人宅への避難、避難所付近の車中泊も考えている。新たな避難所は、耐震化はできていないところもある。

問 単身者用テントの備蓄数は。今後の購入予定は。

答 奥原危機管理課長
今後、単身用及び2・3人用のテントを購入していく予定である。

問 土砂崩れ危険地域へ事前に避難所へテントを配置すべきだができていないのか。高齢者や障害者の用ベッド備蓄はできているのか。

答 奥原危機管理課長
現在、収容可能人数や、実際に避難してきた方の人数を踏まえ、避難用の資機材などを配備している。避難所開設における新型コロナウイルス感染症への対応方針を策定し、避難所の過密状態の防止、衛生管理及び避難者の健康管理の徹底、避難所でのスペース確保、必要な物資・資機材の確保、避難者自身の感染予防措置の理解と協力、感染が疑われる避難者への適切な対応などを検討し、対策を講じてい

問 各町内会で、誰がどこの避難所を利用するかを把握し自治体と共有すべきだができているのか。避難所運営マニュアルの作成と更新を町がリードすべき。感染防止物資の調達拡充は。マニュアルを使った防災訓練を何回か実施すべきだができないのか。自主防の地域差があるがどう埋めるのか。

る。今後、自主防災組織の方々と避難所運営の確認や実践的な訓練に取り組んでいきたい。

答 奥原危機管理課長
地震・津波については、いつ発災するか予期できないものであり、普段から必要なものを準備し、すぐに持ち出せるようにすることや避難場所への経路を複数確認し、複数の避難場所を想定するなど日頃からの準備をしっかりとしていきたい。現在備蓄している物に加え、自主防災組織の方々の意見を踏まえ、調査・研究に努めていく。

議員 この他に、半割れ時の対応を質問。対応方針は策定済みとのこと。



佐川 富美 議員

大里松原海岸の安全性は

〈建設課長〉
住民の安心・安全のため要望していく

答 黒木建設課長
松原海岸は、昨年の台風の影響直後、管理者である県により海岸の砂利を防潮堤から1メートル下がりまで移動、敷ならしていた。さらに、県に対して、大里部落町で要望を行い、防潮堤より2メートル下がりまで砂利の移動を追加した。県からは、経済性も考慮しながら、できるだけ地盤を下げる方法として、砂浜全体を水平に敷ならしたと伺っている。

問 住民は「以前は海水が堤防を越えてきてもすぐに抜けていた」と言っている。現在、堤防出入口に階段が設置され、浜と完全に分断している。階段はいつ、どうして設置されたのか。また堤防は、隙間・亀裂などがあるのか。

問 昨年の台風後、国は栃木・茨城の氾濫した河川について、堤防に切れ目を作り水を流し込む、伝統的な霞堤を整備するらしい。以前の松原の堤防は、この霞堤と似た機能を持

るが、安全性についてはどうか。

答 黒木建設課長
堤防の階段は、東日本大震災を受け、高潮・津波による被害を軽減するため、平成24年度、開口部を閉鎖する代わりとして作られた。安全性については、県により健全度評価を行っており、40年程経過しているが、全体的に健全であると伺っている。

問 今年の松林再生の計画は。

答 森農林水産課長
大里部落と県・町が連携した「大里松原保全対策推進協議会」を設置し、1回目の協議会を行う準備をしている。また、県営治山事業を活用した計画を策定予定。今年度の黒松の植樹は、約700本の植樹を予定している。



防潮堤の出入口階段

ケーブルテレビで情報発信しては

〈まち・みらい課長〉
費用の面から別の方法を考えていく

問 中野まち・みらい課長
以前もケーブルテレビ網の検討を行った。課題として、初期投資費用が1億円、導入後の運用費用、職員の配置などがある。情報技術の進歩は非常に早く、有効な配信方法がないか研究していきたい。町民の皆さまにとってより効果的な情報発信を行っていただきたい。



前田 八重子さん

芝字居内 満97歳 (大正11.8.26生)

・元気の秘訣は？

リズム正しい生活。
毎日のラジオ体操。

・日常生活は？

朝は、家族分のお味噌汁をつくる。

夜は、テレビでスポーツ観戦。特に野球が好き。

・人生の思い出は？

孫の大学入学時に行った、初めての東京見物。

・町に一言

福祉でお世話になり、とてもありがたい。



令和2年7月2日 自宅前にて



編集委員会



（小山）
できれば
幸いです。

未だ、世界的に感染拡大を続ける新型コロナウイルス感染症。日本では、移動の自粛が緩和され、各地で新しい生活様式がスタートしています。
今年も暑さ厳しき折、熱中症が懸念されています。私たちも、引き続き、それぞれの正しい知識を持って、生活していきたいものです。
6月定例会において、議会広報編集特別委員会のメンバーも新しくなりました。議会だよりも、皆さんにとって身近な広報誌となるよう、常に読みやすく、分かりやすいをモットーに、委員一同、この2年間取り組んでまいります。皆様からのご意見・ご要望など、お寄せいただければ幸いです。

編集後記